

株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日

単元株式数 1,000株
株式の名義書換
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号
中央三井信託銀行株式会社大阪支店証券代行部
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社本店
および全国各支店
日本証券代行株式会社本店および全国各支店

公 告 方 法 日本経済新聞に掲載する
当社の貸借対照表、損益計算書は、EDINET（証券取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

上場証券取引所 ジャスダック証券取引所
証 券 コ ー ド 5820

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式の買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル 0120-87-2031で24時間受付しております。

MITSUBOSHI CO., LTD.

(ホームページアドレス：<http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>)



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



地球環境に配慮した大豆油インキを使用しています

第 62 期

中 間 報 告 書

(平成18年4月1日から
平成18年9月30日まで)



株式会社 **三ツ星**

JASDAQ
証券コード：5820

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は、格別のご支援ご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
 さて、当社の第62期中間期（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）が終了いたしましたので、営業の概況についてご報告申し上げます。

営業の概況

●企業集団の営業の経過および成果

当中間期におけるわが国の経済は、企業収益の改善や需要の増加を背景に設備投資が堅調に推移し、所得や雇用情勢の改善に支えられた個人消費も堅調に推移するなど、内需を中心として景気は回復を続けています。

一方、原油や非鉄金属市況の高騰により原材料・燃料コストが上昇するなど企業収益への影響やゼロ金利の解除による金利の上昇など景気の先行きの不透明感は払拭されていない状況です。

このような環境のもと当社グループは、市場環境に適切に対応するため設備の増強を図り品種の拡大に努めるなど受注の確保に注力してまいりました。また、銅をはじめとする諸資材の値上がりによる原価の上昇を吸収するため、生産性の改善に取り組むとともに、販売価格への転嫁にも注力いたしました。

その結果、連結売上高5,968百万円と前年同期比1,406百万円（30.8%増）の増収となりました。また、連結営業利益は、「作業くず等処分益」に係る会計処理の変更による51百万円の影響もあり、212百万円と前年同期比237百万円の増益、連結経常利益は231百万円と前年同期比233百万円増益、連結中間純利益147百万円と前年同期比156百万円の増益となりました。

事業別の業績は、次のとおりであります。

□電線事業

電線事業の需要動向に密接に関係する民間設備投資の増加は、企業収益の改善を背景に非製造業や中小企業にも波及しました。また、造船関係も堅調に推移するなどキャブタイヤケーブルの需要も堅調に推移しました。また、高騰する銅や値上がりする石油化学製品などによる製造原価上昇分を適正に販売価格に転嫁することにも注力した結果、売上高は4,165百万円と前年同期比1,324百万円（46.6%増）の増収となりました。営業利益は、「作業くず等処分益」に係る会計処理の変更による51百万円の影響もあり、330百万円と前年同期比188百万円（132.8%増）の増益となりました。

□ポリマテック事業

この事業に関係の深い新設住宅着工戸数が底堅い動きを示す中、リサイクル材料を使用した製品や環境配慮型製品の部材などの拡販に注力いたしました。しかし、石油製品などの原材料価格の高騰や、海外生産品との価格競争など厳しい経営環境となり、売上高は1,345百万円と前年同期比10百万円（0.8%減）の減収となり、営業損失68百万円（前年同期は営業損失95百万円）となりました。

□その他事業

高機能特殊チューブに係わる事業では、主力市場であるワイドフォーマットプリンターなど業務用インクジェットプリンターの出荷量は堅調に推移しましたが、顧客ニーズの多様化への対応や価格競争など厳しい経営環境となり、売上高は36百万円と前年同

期比5百万円（17.5%増）の増収となりました。

また、子会社であるシルバー鋼機株式会社の電熱線・帯及びステンレス鋼線・帯に係わる事業は、ステンレス線の在庫調整がほぼ完了したこと、電熱線・帯の国内を主体とする需要が回復してきたことに加え、原料となるニッケルの高騰を受けて一部の取引先の前倒し発注の動きもあり、売上高は420百万円と前年同期比86百万円（25.9%増）の増収となりました。

その結果、その他事業の売上高合計は456百万円と前年同期比91百万円（25.2%増）の増収、営業損失49百万円（前年同期は営業損失71百万円）となりました。

●企業集団が対処すべき課題

今後の景気の見通しにつきましては、現状の回復基調を維持すると予想されますが、一部デジタル関連材の在庫調整、海外景気の減速、さらに諸コストの増加による企業収益の伸び悩みにより、生産や設備投資が一時的に減速する可能性があります。また、原油価格の動向は依然不透明で、緊張が続く中東情勢や北朝鮮問題など内外経済に与える影響は予測を許さない状況が続くと思われます。このような情勢のもと、当社グループは顧客ニーズを的確に捉えるための営業力と、それに迅速に 대응するための生産力と技術力の高度化を図ってまいります。

電線事業の需要動向と密接な関係にある民間設備投資は、企業の設備投資意欲が強く、今後も堅調に推移すると見込まれますが、企業収益を取り巻く環境は厳しさを増しつつあり、年明け以降は設備投資の伸びが鈍る可能性があります。また、販売や収益に大きく影響する銅価格は、高騰の後高止まりしていますが、今後の価格変動など予測を許さない状況です。このような環境のもと、銅価格の変動に適切に対応し、適正価格での販売と原価低減活動の強化を図り、環境に配慮した製品など顧客ニーズを反映した製品づくりに注力してまいります。また、よりきめ細かな顧客ニーズへの対応と販売力を強化するため営業力の増強を図ってまいります。

ポリマテック事業に関係の深い新設住宅着工戸数は、金利先高感や地価の下げ止まり感などから、堅調に推移すると見込まれます。また、樹脂加工業は相次ぐ石油化学製品などの原材料の値上がりと得意先からのコストダウン要請により、経営環境は厳しさを増しています。このような環境のもと、既存顧客での新規案件の獲得と新規顧客の開拓に注力し拡販を図り、生産性の改善への取組をさらに強化し、収益性の向上に努めてまいります。

その他事業における高機能特殊チューブに係わる事業では、顧客ニーズに適合した製品を提供するためマーケティング力を強化し、製品の改良や新製品の開発を進め拡販に注力いたします。

また、子会社であるシルバー鋼機株式会社の電熱線・帯が需要の減少期に入ることに加え、高騰を続ける原材料価格の製品価格への転嫁は困難が予測されるなど厳しい経営環境が見込まれます。このような環境のもと技術力をさらに強化し、生産性を改善し高付加価値製品を提供することにより競争力を高めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年11月

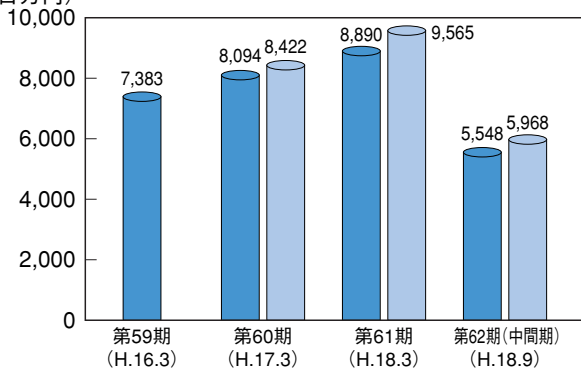
代表取締役社長 塚本洋一

業績の推移

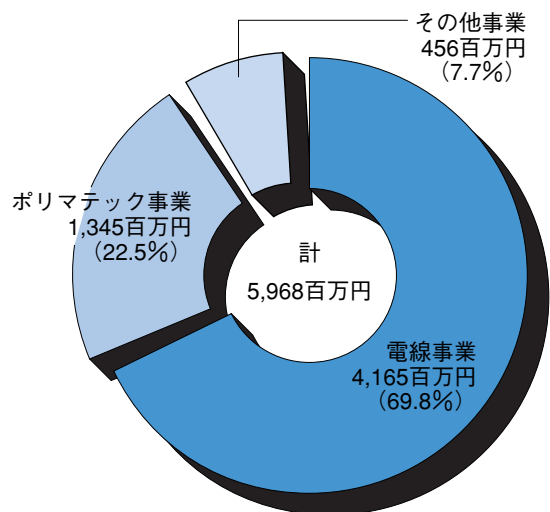
●売上高

■ 単体 ■ 連結

(百万円)



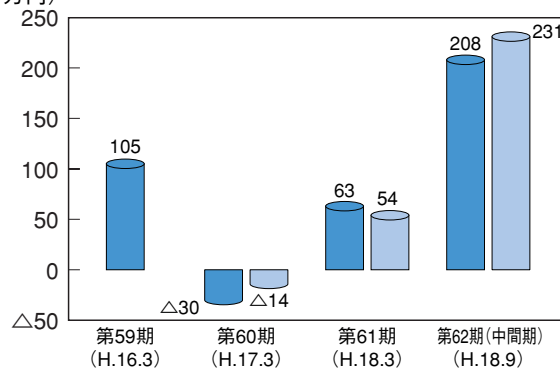
●企業集団の事業区別売上高の状況



●経常利益 (△損失)

■ 単体 ■ 連結

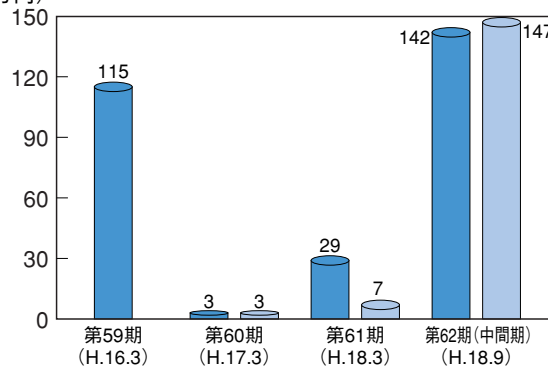
(百万円)



●中間(当期)純利益

■ 単体 ■ 連結

(百万円)



中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	
	当中間期末 平成18年9月30日現在	前中間期末 平成17年9月30日現在
	金額	金額
(資産の部)		
流動資産	5,827,340	4,568,517
現金及び預金	200,904	389,501
受取手形	1,862,888	1,425,264
売掛金	2,236,560	1,647,541
たな卸資産	1,411,670	1,003,343
その他	135,866	118,697
貸倒引当金	△ 20,550	△ 15,831
固定資産	4,890,511	4,872,219
有形固定資産	3,437,716	3,373,393
建物	534,195	548,100
機械装置	413,675	298,432
土地	2,388,619	2,402,721
その他	101,226	124,138
無形固定資産	23,171	27,044
投資その他の資産	1,429,622	1,471,781
投資有価証券	1,314,297	1,274,051
その他	163,888	274,287
貸倒引当金	△ 48,563	△ 76,557
資産合計	10,717,851	9,440,736

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科目	期別	
	当中間期末 平成18年9月30日現在	前中間期末 平成17年9月30日現在
	金額	金額
(負債の部)		
流動負債	3,091,332	2,037,468
買掛金	1,719,983	1,077,927
短期借入金	440,000	350,000
一年以内返済予定の長期借入金	361,592	256,680
未払法人税等	140,486	13,721
賞与引当金	159,970	120,231
その他	269,300	218,908
固定負債	1,505,099	1,424,301
社債	300,000	300,000
長期借入金	784,540	693,260
退職給付引当金	158,708	182,094
役員退職慰労引当金	261,851	248,946
負債合計	4,596,432	3,461,770
(資本の部)		
資本金	—	1,136,518
資本剰余金	—	1,133,596
利益剰余金	—	3,637,577
その他有価証券評価差額金	—	209,993
自己株式	—	△ 138,719
資本合計	—	5,978,965
負債・資本合計	—	9,440,736
(純資産の部)		
株主資本	5,892,746	—
資本金	1,136,518	—
資本剰余金	1,133,596	—
利益剰余金	3,762,464	—
自己株式	△ 139,833	—
評価・換算差額等	228,673	—
その他有価証券評価差額金	228,673	—
純資産合計	6,121,419	—
負債・純資産合計	10,717,851	—

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	前中間期
	当中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで
	金額	金額
売上高	5,548,320	4,228,708
売上原価	4,478,303	3,419,371
売上総利益	1,070,016	809,336
販売費及び一般管理費	877,308	826,974
営業利益(△損失)	192,708	△ 17,638
営業外収益	31,368	30,590
営業外費用	15,852	12,359
経常利益	208,224	592
特別利益	53,665	13,157
特別損失	7,908	1,047
税引前中間純利益	253,981	12,701
法人税、住民税及び事業税	132,600	7,500
法人税等調整額	△ 21,160	4,452
中間純利益	142,541	749
前期繰越利益	—	9,579
中間未処分利益	—	10,328

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

平成18年4月1日から
平成18年9月30日まで

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金合計	
				特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金		
平成18年3月31日残高	1,136,518	1,133,596	1,133,596	87,500	4,748	3,535,000	38,828	3,666,077
中間期間中の変動額								
特別償却準備金の取崩(前期利益処分)					△ 1,187		1,187	—
特別償却準備金の取崩(当中間期間分)					△ 593		593	—
別途積立金の取崩						△ 50,000	50,000	—
剰余金の配当							△ 46,153	△ 46,153
中間純利益							142,541	142,541
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の中間期間中の変動額(純額)								
中間期間中の変動額合計	—	—	—	—	△ 1,780	△ 50,000	148,168	96,387
平成18年9月30日残高	1,136,518	1,133,596	1,133,596	87,500	2,968	3,485,000	186,996	3,762,464

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高	△ 139,754	5,796,437	285,253	285,253	6,081,690
中間期間中の変動額					
特別償却準備金の取崩(前期利益処分)		—			—
特別償却準備金の取崩(当中間期間分)		—			—
別途積立金の取崩		—			—
剰余金の配当		△ 46,153			△ 46,153
中間純利益		142,541			142,541
自己株式の取得	△ 78	△ 78			△ 78
株主資本以外の項目の中間期間中の変動額(純額)			△ 56,580	△ 56,580	△ 56,580
中間期間中の変動額合計	△ 78	96,308	△ 56,580	△ 56,580	39,728
平成18年9月30日残高	△ 139,833	5,892,746	228,673	228,673	6,121,419

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	
	当中間期末 平成18年9月30日現在	前中間期末 平成17年9月30日現在
	金額	金額
(資産の部)		
流動資産	6,257,165	4,920,490
現金及び預金	325,167	486,855
受取手形及び売掛金	4,281,023	3,211,484
有価証券	—	18,246
たな卸資産	1,545,894	1,130,689
その他	127,414	90,574
貸倒引当金	△ 22,334	△ 17,360
固定資産	4,751,278	4,775,399
有形固定資産	3,650,535	3,600,839
建物及び構築物	647,915	674,530
機械装置及び運搬具	466,765	363,691
土地	2,480,498	2,494,600
その他	55,355	68,017
無形固定資産	360,405	407,517
連結調整勘定	—	375,232
のれん	333,540	—
その他	26,864	32,284
投資その他の資産	740,338	767,042
投資有価証券	656,818	616,571
その他	132,083	227,028
貸倒引当金	△ 48,563	△ 76,557
資産合計	11,008,444	9,695,890

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科目	期別	
	当中間期末 平成18年9月30日現在	前中間期末 平成17年9月30日現在
	金額	金額
(負債の部)		
流動負債	3,319,873	2,199,910
支払手形及び買掛金	1,882,736	1,197,021
短期借入金	440,000	350,000
一年以内返済予定の長期借入金	371,276	266,364
未払法人税等	160,703	19,089
賞与引当金	172,970	133,231
その他	292,187	234,204
固定負債	1,583,541	1,526,125
社債	300,000	300,000
長期借入金	822,216	740,620
退職給付引当金	175,413	200,804
役員退職慰労引当金	261,851	248,946
その他	24,060	35,754
負債合計	4,903,414	3,726,035
(資本の部)		
資本金	—	1,136,518
資本剰余金	—	1,133,596
利益剰余金	—	3,628,465
その他有価証券評価差額金	—	209,993
自己株式	—	△ 138,719
資本合計	—	5,969,854
負債・資本合計	—	9,695,890
(純資産の部)		
株主資本	5,876,356	—
資本金	1,136,518	—
資本剰余金	1,133,596	—
利益剰余金	3,746,074	—
自己株式	△ 139,833	—
評価・換算差額等	228,673	—
その他有価証券評価差額金	228,673	—
純資産合計	6,105,029	—
負債・純資産合計	11,008,444	—

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	前中間期
	当中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで
	金額	金額
売上高	5,968,898	4,562,713
売上原価	4,801,580	3,689,421
売上総利益	1,167,318	873,292
販売費及び一般管理費	955,119	898,422
営業利益(△損失)	212,198	△ 25,130
営業外収益	34,936	35,555
営業外費用	16,009	12,544
経常利益(△損失)	231,125	△ 2,118
特別利益	53,665	13,157
特別損失	7,968	1,047
税金等調整前中間純利益	276,822	9,991
法人税、住民税及び事業税	152,934	12,868
法人税等調整額	△ 23,530	5,745
中間純利益(△純損失)	147,417	△ 8,622

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

平成18年4月1日から
平成18年9月30日まで

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成18年3月31日残高	1,136,518	1,133,596	3,644,810	△ 139,754	5,775,171
中間連結期間中の変動額					
剰余金の配当			△ 46,153		△ 46,153
中間純利益			147,417		147,417
自己株式の取得				△ 78	△ 78
株主資本以外の項目 の中間連結期間中の 変動額(純額)					
中間連結期間中の変動額合計			101,263	△ 78	101,185
平成18年9月30日残高	1,136,518	1,133,596	3,746,074	△ 139,833	5,876,356

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他 有価証券 評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計	
平成18年3月31日残高	285,253	285,253	6,060,424
中間連結期間中の変動額			
剰余金の配当		△ 46,153	
中間純利益		147,417	
自己株式の取得		△ 78	
株主資本以外の項目 の中間連結期間中の 変動額(純額)	△ 56,580	△ 56,580	△ 56,580
中間連結期間中の変動額合計	△ 56,580	△ 56,580	44,605
平成18年9月30日残高	228,673	228,673	6,105,029

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期別	
	当中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	前中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 333,454	△ 309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 21,216	△ 84,808
財務活動によるキャッシュ・フロー	237,247	6,515
現金及び現金同等物の減少額	△ 117,422	△ 78,602
現金及び現金同等物の期首残高	442,590	565,458
現金及び現金同等物の中間期末残高	325,167	486,855

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

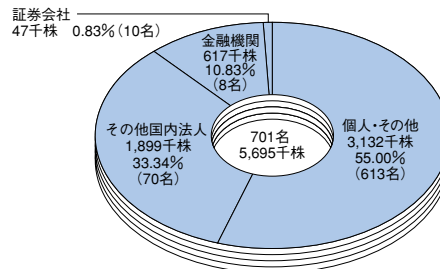
株式の状況(平成18年9月30日現在)

- 発行可能株式数 19,000,000株
- 発行済株式の総数 6,333,276株
- 株主数 831名
- 大株主

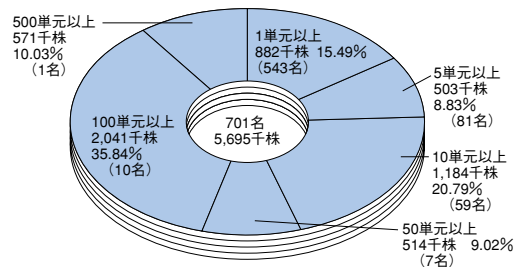
株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
塚本洋一	571,517株	10.03%
有限会社ツカモト	400,000	7.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	284,750	4.99
スリースター有限会社	275,150	4.83
三ツ星従業員持株会	209,425	3.67
津田電線株式会社	193,261	3.39
塚本一男	185,713	3.25
中央三井信託銀行株式会社	147,000	2.58
大崎元子	124,169	2.18
西崎ひとみ	115,229	2.02

(注) 上記のほか、当社が自己株式564,250株を保有しております。

●所有者別株式分布状況(単元株以上)



●所有株数別株式分布状況(単元株以上)



※自己株式564千株、保管振替機構名義1千株は除いております。

会社の概要

●企業集団の主要な事業内容

当企業集団はゴム電線、プラスチック電線、合成樹脂異形押出品ならびにその附属品の製造販売を主とし、商品の販売も行っております。

主要产品目は次のとおりであります。

区 分	主 要 品 目
製 品	電 線 事 業 (ゴム電線) 天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、その他
	ポリマテック事業 (合成樹脂異形押出品) 硬質押出成形品、軟質押出成形品、その他
	その 他 事 業 高機能特殊チューブ、電熱線・帯、ステンレス鋼線・帯、その他
商 品	電 線 事 業 (電線類) 配電用ケーブル、通信線、その他
	ポリマテック事業 (合成樹脂加工品) 射出成形品、真空成形品、その他
	その 他 事 業 フッ素系成形品、その他

●役員 (平成18年9月30日現在)

取締役および監査役

代表取締役社長	塚 本 洋 一
取締役副社長	塚 本 聡 一 郎
常務取締役	萬 玉 壽 一
取締役	岡 本 浩 一
取締役	加 賀 山 茂
取締役	前 田 明 作
常勤監査役	塚 本 勲 義
監査役	村 角 末 義
監査役	川 上 良 義

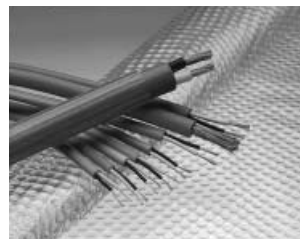
執行役員

執行役員	塚 本 一 男
執行役員	西 田 隆
執行役員	小 寺 典
執行役員	安 田 昭
執行役員	山 本 光
執行役員	山 本 康 弘

●主要製品



ゴム・プラスチックキャブタイヤケーブル



架橋ポリエチレンケーブル



硬質押出成形品



軟質押出成形品



高機能フッ素系チューブ



電熱線・帯

●企業集団の主要な事業所（平成18年9月30日現在）

〈当社〉

本 社	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号 電話 06 (6762) 6953 (代表)
大阪営業所 (電線事業部) (ポリマテック事業部)	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号 電話 06 (6762) 6931 (代表) 電話 06 (6762) 6934 (代表)
東京営業所 (電線事業部) (ポリマテック事業部)	〒271-0068	千葉県松戸市古ヶ崎二丁目3207-2 電話 047 (360) 2821 (代表) 電話 047 (360) 2901 (代表)
九州営業所	〒815-0081	福岡市南区那の川一丁目9番19号 電話 092 (526) 2615 (代表)
仙台営業所	〒983-0044	仙台市宮城野区宮千代三丁目5番12号 桜木ビル1階 電話 022 (239) 1271 (代表)
札幌営業所	〒065-0020	札幌市東区北二十条東十五丁目1番17号 電話 011 (741) 0050 (代表)
名古屋営業所	〒465-0095	名古屋市名東区高社1-253 一社プラザ402号 電話 052 (760) 4636 (代表)
羽曳野工場	〒583-0867	大阪府羽曳野市河原城534番地 電話 072 (939) 4561 (代表)
滋賀工場	〒520-3306	滋賀県甲賀市甲南町柑子1061-3 電話 0748 (86) 6104 (代表)

〈シルバー鋼機株式会社〉

本 社	〒140-0014	東京都品川区大井1-42-2 シルバービル 電話 03 (3773) 9481 (代表)
-----	-----------	---

●企業集団の従業員の状況（平成18年9月30日現在）

285名（84名）

従業員数は就業人員であり、パートおよび嘱託は（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。